

ICT 活用と ALT(外国語指導助手)の複合講座 「チャレンジ・イングリッシュ」を中学校 7 校で開催 ～地元貢献と受験者数増加策として実施～

オンライン学習教材「すらら」を展開する株式会社すららネット（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：湯野川孝彦）では、小学校高学年対象の英検講座「チャレンジ・イングリッシュ」を企画、7校の中学校にて各校主催により開催します。

「チャレンジ・イングリッシュ」は、すららネットが企画し、中学校が主催する小学校高学年を対象とした英検講座です。今年は、函館白百合学園中学校（北海道函館市）、会津若松ザベリオ学園中学校（福島県会津若松市）、岡山学芸館 清秀中学校（岡山県岡山市）、如水館中学校（広島県三原市）、呉青山中学校（広島県呉市）、高知中学校（高知県高知市）、九州国際大学付属中学校（福岡県北九州市）の7校にて夏から秋にかけて開催します。

授業は、ALT（外国語指導助手）らの指導で楽しく学べる「英会話講座」のほか、自分のペースで習得できるオンライン学習教材「すらら」を使用した「文法講座」の2講座から構成されています。先取り学習可能なスマルステップの構成で、レクチャーとドリルがともにネイティブの発音で学習できる「すらら」は、授業内だけでなく自宅でも学習いただけます。昨年度は4校が実施し、小学生にもかかわらず、中学初級程度と言われる英検5級の平均合格率は約7割という結果でした。

中学校側においては、地元への貢献策の1つであり、かつ、受験候補者への接触機会創出につながり、校風や授業の雰囲気をアピールできる受験者数の増加策となります。

一方、受講する生徒にとっては、楽しみながら英語を安価で学べる機会となります。

小学校で英語を正式教科とすること等が盛り込まれた提言案を教育再生実行会議がまとめているように、小学生への英語教育はますます重視される傾向にあり、本企画を採用する学校も昨年の4校から、今年は7校へと拡大しております。

【開催校】

○函館白百合学園中学校（北海道函館市）

対象：小学5・6年生、定員：30名＜募集期間：～7月13日（金）＞

英検級：4級・5級、授業回数：7月20日（土）より全8回（不定期）

○会津若松ザベリオ学園中学校（福島県会津若松市）

対象：小学6年生、定員：20名＜募集期間：～7月31日（水）＞

英検級：5級、授業回数：8月3日（土）より全5回（不定期）

○岡山学芸館 清秀中学校（岡山県岡山市）

対象：小学5・6年生、定員：40名＜募集期間：～7月19日（金）＞

英検級：設定無し、授業回数：7月24日（水）より全6回（月・水・金）

○如水館中学校（広島県三原市）

対象：小学5・6年生、定員：30名＜募集期間：～8月2日（金）＞

英検級：4級・5級、授業回数：8月5日（月）より全10回（不定期）

○呉青山中学校（広島県呉市）

対象：小学4～6年生、定員：25名＜募集期間：～6月30日（日）＞

英検級：4級・5級、授業回数：7月23日（火）より全10回（不定期）

○高知中学校（高知県高知市）

対象：小学5・6年生、定員：20名＜募集期間：～7月31日（水）＞

英検級：5級、授業回数：8月3日（土）より全9回（不定期）

○九州国際大学付属中学校（福岡県北九州市）

対象：小学5・6年生、定員：30名＜募集期間：～募集定員になり次第締切＞

英検級：4級・5級、授業回数：7月22日（月）より全9回（不定期）

今後も、教育に携わる企業として、教育現場の変化に対応し、導入校・塾様のニーズにお応えする、教材・企画の開発に力を注いでいきたい、と考えております。

NEWS RELEASE



■オンライン学習教材「すらら」とは

【学習範囲】小学校高学年～高校3年生までの学習指導要領に準拠

【対応教科】英語・数学・国語

【ユーザー数】23,000名(2013年3月末現在)

【特徴】

○Point 1 スモールステップでわかりやすいインターラクティブ授業

1つの単元は10から15分程度で、小さな階段を少しづつ上るような構成。

しかも授業は一方的ではなく、随所で先生役のキャラクターが問い合わせを行い、問題に答えていくというインターラクティブスタイル。そのため、飽きることなく、適度な緊張感を持続し、楽しみながら学習を進めていくことが可能。

○Point 2 難易度調整や弱点診断ができる演習ドリル

一人ひとりの理解度に応じて出題される問題の難易度を調整する「出題難易度コントロールシステム」を搭載。「簡単すぎず難しすぎない」問題が出題されることで、達成感を感じ自信を深めながら、学習を進めることができ。また、何がわからないから問題が解けないのか理由を探る「弱点自動判別システム」も搭載。

○Point 3 現役の塾の先生による手厚いフォロー

いつまでにどこまでの学習をするかといった「月1回の目標設定」や、つまずいているところがないうか「週1回程度の電話やメールでの進捗確認」など、継続して取り組めるよう現役塾講師がフォロー。また、オンライン学習だからこそ、学習内容や正答率・解く速さなども詳細に把握できるので、お子様一人ひとりに応じたきめ細やかな学習指導が可能。

<参考>これまでのオンライン学習教材の大半は以下の3パターン

1. 動画配信型：カリスマ講師のレクチャービデオを視聴するタイプ

「理解」にはすぐれているが「反復」の部分がないためやりっぱなしになってしまい、実力が身につかない傾向がある。また、一方的な説明となるため、比較的意識の高いお子様でないと、集中力が続かない。

2. 問題集型：問題集の結果をパソコンに打ち出して結果分析をするタイプ

「定着」にはすぐれているが「理解」の部分がないため、学力の高い生徒でないと一人で学習を進めることが困難な傾向がある。

3. ゲーム型：携帯用ゲーム機などを使って学習するタイプ

非常に楽しく学習できるが、単語など反復による暗記系が中心で、体系的な学習には向き。

「すらら」はこうしたそれぞれの短所を補い、長所を相乗効果的に組合せた、理想の"次世代型教育システム"です。

■すららの「ゲーミフィケーション的要素」

①他のユーザーと「総学習時間」や「クリアユニット数」で競い合う緊張感

②キャラクターによる対話形式で根本理解を深める本格的なレクチャー

③ドリルパートにて、生徒ごとにカスタマイズされた問題を解き、

各ステージをクリアするという快感



努力指標（学習時間・クリアユニット数）におけるランキング

学習レベル：「累計総学習時間」「累計総クリアユニット数」によって自分のステータスが、ランクアップする仕組み

今日の目標一覧：自分or先生が設定した目標ユニットが表示される

クリアユニット数の推移

■ 株式会社すらら ネット 会社概要

- 設立：2008年8月 ○資本金：6,285万円 ○所在地：東京都千代田区内神田
- 事業内容：オンライン学習による教育サービスの提供および運用コンサルティング、マーケティングプロモーション及びホームページの運営
- 会社URL：<http://surala.jp/>